

立山・剣岳の花シリーズ 第9弾 「シャクナゲ」

「シャクナゲ」は、剣岳・立山では、2500m前後の高い山の稜線によく見られる花です。「ハクサンシャクナゲ」「キバナシャクナゲ」「ニッコーキバナシャクナゲ」など種類がたくさんあるようですが、ナイスは、まだよく理解できていません。しかし、春の訪れを感じさせる花として、雪がまだびっしりある稜線の「陽だまり」のハイマツの中に、この花をみつけると「ホッと」します。・・・これから春だなと感じさせる花です。

6月の立山にて



6月の立山にて



6月の残雪のびっしり残っている立山へ登る途中、一の越付近にて、陽だまりの暖かい場所にしっかりと「シャクナゲ」が咲いています。



6月の奥穂高にて撮影しました。残雪のたくさんある穂高連峰でも、もう稜線は春の香りが漂っています。



5月下旬の剣岳早月尾根での写真です。2450mのピーク手前の陽だまりの場所だけは、雪はなく、春の香りが漂っています。

7月の剣岳・早月尾根にて

7月の剣岳・早月尾根にて



池ノ平山の頂上にて



池ノ平山の頂上にて・・・ピントが・・・

